

## クーポン券でがん検診無料

問合先／健康課(健康福祉会館内) ☎42-8723  
FAX42-7521 kenko@city.kasai.lg.jp

40歳代からがんになる人が増加します。2人に1人は、何らかのがんと診断されるほど身近な病気です。がんの予防には、禁煙や食生活、運動などの生活習慣の改善とともに、継続してがん検診を受けることも、早期発見・早期治療につながるため重要です。

一人でも多くの方にがん検診を受けただくために、「がん検診無料クーポン券」を5月下旬に対象となる方へ郵送します。症状がなくても検診を受け、健康管理に努めましょう。

### ■対象者とがん検診の種類

対象者	がん検診
41歳(昭和51年4月2日～52年4月1日生まれ)	肺・胃・大腸・子宮頸がん・乳がん
46歳(昭和46年4月2日～47年4月1日生まれ) 51歳(昭和41年4月2日～42年4月1日生まれ) 56歳(昭和36年4月2日～37年4月1日生まれ) 61歳(昭和31年4月2日～32年4月1日生まれ)	乳がん
21歳(平成8年4月2日～9年4月1日生まれ) 26歳(平成3年4月2日～4年4月1日生まれ) 31歳(昭和61年4月2日～62年4月1日生まれ) 36歳(昭和56年4月2日～57年4月1日生まれ)	子宮頸がん

※子宮頸がんは20歳から30歳代の女性がかかりやすい病気です。若い女性も検診を受けましょう。

## 集団乳がん検診「2年に1回定期的に」

問合先／健康課(健康福祉会館内) ☎42-8723  
FAX42-7521 kenko@city.kasai.lg.jp

乳がんの早期発見のためには「2年に1回定期的に」検診を受けることが大切です。1度の受診で安心せず、定期的に受診しましょう。

早期発見・早期治療で、5年生存率は99.4%((財)がん研究振興財団「がんの統計'13」と100%に近い数値となります。

加西市では、集団健診と個別健診(医療機関)で乳がん検診を実施しています。昨年度に乳がん検診を受診されていない方や、一度も受診したことがない方は、この機会にお申し込みください。

### ■検査のQ & A

Q:どんな検査をするの?

A:医師が乳房とわきの下を手で触ったり目で見てしこりなどがいないかを調べる「視触診」と、乳房をプラスチック板で挟み、薄く引き伸ばしてレントゲン撮影する「マンモグラフィー検査」をします。

Q:マンモグラフィー検査は痛いのか?

A:挟むことにより痛みを伴うこともあります。生理前はホルモンの関係で乳房が張って痛みを感じやすいため、心配な方はこの時期を避けて検査することをお勧めします。

Q:放射線(レントゲン)被爆の影響は?

A:影響はほとんどないと考えられます。1回の撮影で乳房が受ける放射線量は、一般の人が1年間に受ける自然放射線量の50分の1程度です(がん情報サービスホームページ)。



### 乳房ケアの費用を助成します

4月から赤ちゃんの授乳などで不安を感じている母親に対して、乳房ケアの費用を助成します。

**対象**／加西市に住民登録のある産後1年未満の方

**内容**／助産師による乳房マッサージ、授乳指導など

**医療機関**／加西病院マタニティセンター

**必要な物**／母子健康手帳、印鑑

**助成額**／3,500円(上限) **助成回数**／2回以内

※医療保険診療対象の場合は自己負担になります。

**利用方法**／①事前に健康課窓口で申請し助成券を受け取る。②加西病院マタニティセンター(受付時間9:30～16:00、☎42-0727)へ予約の上、助成券を持参し、乳房ケアを受ける。

**問合先**／妊娠・出産・子育て応援!すくすく相談窓口  
健康課(健康福祉会館内) ☎42-8723

病院目標「力を合わせて価値ある病院づくりに取り組もう！」

院長に就任してから早1年が経過しました。院長の仕事として最も重要なことは、「病院の進むべき方向を



左から山邊裕事業管理者、北嶋直人院長、藤原早百合副院長・看護部長、前田晃事務局長

見極めて方針を立て、体制を確立すること」ですが、その難しさは想定以上です。

加西病院を外から見ると、建物が丘の上にドッシリと鎮座していて、いつもそこに存在していることが当たり前と市民の方々は認識されていると思います。しかし、急速に進む高齢化に対応するために国全体の医療制度が大きな変革期に入ってきたことで、加西病院も大きな曲がり角に差し掛かっています。

これに対応するために、昨年度は「ニーズを見すえて価値ある病院を作ろう！」の病院目標のもとで、本院の存在意義や今後の進むべき方向を問い直してきました。

12月に開催された地域医療市民フォーラムでも、加西病院が市内唯一の急性期病院として救急医療や専門医療を提供することが、安心して市民生活を送る上で必須と再確認されました。

そこで今年度の病院目標は、「力を合わせて価値ある病院づくりに取り組もう！」としました。本院の使命は、市民の生活に必須の急性期医療を行うこと、次世代の医

療者の育成を中心課題に据えること、診療所や施設と連携して地域医療ならびに市民の健康の中核機能を果たすことだと考えています。

しかし、神戸大学から医師派遣の支援を受けた統合病院が近隣に相次いで開院したことの影響は如実に現れています。最も大きな影響は常勤医の減少です。4月ほどの職場でも異動の時期ですが、本院ではこの2・3年間、転出される医師の数が上回っており、特に内科医が7人も減ったことは病院にとって大きな痛手です。

医師の働きやすい環境を整えると共に、さまざまなルートを通じて医師の招聘に努力しています。これ以上医師が減ると、急性期病院の機能を維持できなくなり、病院の方針を維持することが難しく、方向転換を余儀なくされる恐れがあります。市民の皆さんには、現在の勤務医師への温かい言葉掛けと共に、ご親族やお知り合いで加西病院に勤めてくださる可能性のある医師について、情報をお寄せいただければ幸いです。

もう一つ、加西病院が今後も元気に急性期医療を続けられるためには、病院の医療機能を適切に利用していただくことが重要です。急性心筋梗塞などの循環器疾患、胃癌・大腸癌などに対する内視鏡治療や外科手術、高齢者に多い股関節手術、白内障などの眼科手術等、本院が得意としている分野を積極的に利用していただくことが、地域の病院を守ることに繋がります。

一方で、病院の医師の主たる仕事は入院患者さんに対する医療です。安定期に入った外来患者さんは、地元の掛かりつけの先生に逆紹介をしていますので、ご協力をお願いします。

(院長 北嶋直人)

北条鉄道利用促進キャンペーン「片道無料」

問合せ先／北条鉄道 ☎42-0036

北条鉄道の良さを認識してもらおうと「北条鉄道利用促進キャンペーン」を実施します。優待券を利用して乗車された方は、1回分の乗車が無料になります。また、北条鉄道からドーナツをプレゼントします。

「おそうじ列車3」の参加者募集

北条鉄道美しくする会では、一緒に駅トイレ掃除をしていただける方を募集しています（掃除道具・お茶は準備します）。

日時／5月20日（土）9:00～12:00 受付8:30

集合場所／播磨横田駅前広場

参加費／500円（駅間移動の運賃含む）

- 期間／5月1日（月）～7月31日（月）
- 利用方法／優待券を切り取り、降車（運賃支払い）時に運転士にお渡しください。
- 注意事項／1枚につきお一人様、1回限り有効です。※複写、印刷したものは無効です。

北条鉄道利用促進キャンペーン  
～応援は年1回の乗車から～

## 北条鉄道乗車優待券

有効期限／平成29年7月31日  
※複写・印刷したものは無効

